

京 都 大 原 学 院
令和3年度 学校教育目標・経営方針

1 理念 (Vision)

「魅力ある持続可能な学校（行きたい、行かせたい、活かしたい、赴任したい学校）」

2 役割

- 公立の学校として、地域文化を継承
- 義務教育学校として、社会をつくる人材の基礎をつくる（勤労、主権者、人権、平和の担い手）

3 育てたい資質・能力

- ① 人としての資質
他者を思いやる、人権を大切にする、命を大切にする
- ② 社会性・人間性
人間関係をつくる、課題解決ができる、協働する、忍耐、柔軟性
- ③ 地域を活性化させる
社会で活躍する、地域を元気にさせる、「地域リーダー」育成のために
地域を誇る、貢献する、創造性
- ④ 学力向上
言語能力、読解力、論理的思考力、聞く、読む、書く、表現する力
- ⑤ 夢を実現させる力
グローバルなビジョン、強い志
- ⑥ つながり、かけ合わせの発想
グローバル（世界視野）とローカル（地元の良さ、足元から）をつなぐグローバル人材の育成
不易（人権尊重、自然敬愛、歴史や伝統を大切にする）と流行（情報：ICT、国際：英語）

4 学校教育目標と目指す子ども像

◇学校教育目標

「大原のゆとりある心を自信をもって伝えられる子に！」

◇目指す子ども像

- 思いやりをもち、自ら汗のかける子の育成
 - ・ 礼儀正しく、どんな人にもていねいに思いやりをもって接することができる
 - ・ 清掃、農作業、いろいろな行事などの準備、後片付けなど勤労作業をいとわず、自分から仕事を見つけて動ける
- 科学的思考のできる子の育成
 - ・ 自分の頭で物事を考え、データを基に、根拠をもって説明することができ、人の考えを取捨選択した上で、きちんと伝えられる
 - ・ 世の中の動きや流れに目を向け、常に先の見通しをもち、現状を科学的に見据えながら地域の将来を考えていける
- コミュニケーション力を発揮できる子の育成
 - ・ きちんとした日本語を使い、相手に自分の意志を正しく伝えられる
 - ・ 大勢の前で堂々と発表できる
 - ・ 見知らぬ人にも躊躇せず話すことができ、自分の考えをきちんと伝えられる
 - ・ 英語で会話することができ、見知らぬ人や外国人にも大原の良さを伝えられる

5 経営方針 ～大原の魅力を見つけ、生かし、発信する～

(1) 大原の強みを生かす

- ① 小中一貫教育 9年間のスパンと系統性で、就学前～卒業後まで見通せる環境がある
- ② コミュニティ・スクール 地域とのつながりが強く、教育資源が豊富
- ③ 小規模校 目が届きやすい、きめ細かな指導ができる、手作りの良さがある
- ④ キャリア教育の充実 大原提言をゴールとした系統的な学習ができています

- ⑤ 外国語に親しみやすい ALT の活用や ~~KCJS、ハワイ大~~交流などを通して慣れやすい
- ⑥ 基本的な生活習慣がある
- ⑦ 理数教育が重視されている
- ⑧ 小規模校サミットなどで、全国の学校・地域とつながっている
- ⑨ 小柳先生（関西大学）や小松先生（国立教育政策研究所）、赤沢先生（奈良教育大学）など、大学の先生の支援・助言がある
- ⑩ 寺院の支援を受け、規律規範意識が育てられている

(2) 学院生に向けて

- ① 一人ひとりの夢の実現のために、「学力」も「人間力・社会性」も伸ばす
- ② 「命を守る」視点から、自他を大切にし、安心・安全な環境づくりの担い手に育てる
- ③ 自尊感情を高め、互いを尊重し、人権の担い手となる子を育てる
- ④ 地域の伝統文化を継承し、地域への誇りと愛着を育み、地域の未来を創り出す子を育てる
- ⑤ 地域貢献のキャリア教育（生き方探究教育）を推進し、多くの大人と関わり、より良い地域や社会をつくる力を育てる
- ⑥ 英語を学校の特色として、グローバルの視野に立ち、コミュニケーション力を発揮できる子を育てる
- ⑦ 全ての学校生活の中で、「つながり」を意識できる子を育てる

(3) 教職員に向けて

- ① 「チーム大原」を意識し、自分の仕事に責任をもち、助け合う・支えあう職場をつくる
- ② ひとりの社会人・公務員としての自覚と責任を常に持つ
- ③ 地域と関わり、地域の教育資源を取り入れた授業や行事を積極的に行う
- ④ 過去に縛られない柔軟な考え方をする
- ⑤ 全ての授業を通して、「主体的・対話的で深い学び」を実現させる
- ⑥ 授業力向上のため、研究授業や他学年交流、また校外での研修を推進する
- ⑦ 「困り」を抱える子どもたちのため、情報を共有し、支援していく

(4) 家庭・地域に向けて

- ① 基本的な生活習慣 あいさつ、食事、整理整頓、けじめ
- ② 規範意識の定着 しかる、ほめる、認める
- ③ 安らげる家庭 子ども、家族と会話がある生活
- ④ 学校と協力 人を非難することで解消せず、親・子・学校一緒に解決する
- ⑤ 家庭学習のすすめ 生涯学習、学習のスタイルをつくる

(5) 地域に向けて

- ① 安全・安心な地域づくり 見守り、声掛け、あいさつ
- ② 規範意識を定着させる どの子も叱る、どの子も褒める
- ③ 大人としての役割 社会人として、地域の先輩として接する
- ④ 学校ボランティアの拡充 学校内の施設への協力、授業や行事へのボランティア活動
- ⑤ 学校教職員を育てる 「風の人」である教職員を、「土の人」である地域住民が育てる

(6) 地域外に向けて

- ① 奈良教育大学と連携を深める（学力分析、~~奈良教育大学4回生地域滞在型教育実習~~）
- ② 小中一貫教育小規模校サミットを支援し、全国の小規模校と連携を続ける
- ③ 被災地支援に取り組む 福島や熊本など、被災地の学校と連携を続ける
- ④ 学校や地域での取組・成果を、広く発信する